

Kandai Style

2019.5・6 Vol.475

関西大学通信

合併号



関大と防災

千里山キャンパス

2018年3月に、防災機能を兼ね備えた体育館としてリニューアルした東体育館。その中に設置している災害用備蓄倉庫は、壁面の一部をガラス張りにし、設備や物資を“見える化”することで日頃から学生・教職員そして地域の方々の防災意識を高めています。倉庫内には、地域住民が一時避難場所として避難してくることも想定し、約25,000人の食料を3日分保管しています。



▲災害用備蓄倉庫を備えた東体育館

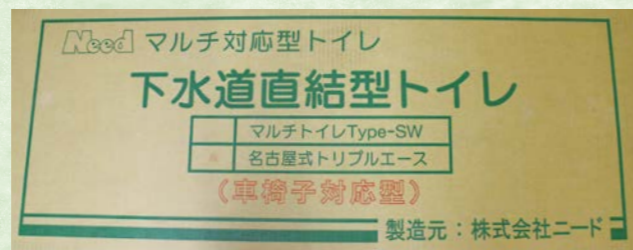


▲備蓄品の数々

高槻キャンパス

リサーチハウス内にある災害用備蓄倉庫には、一度に約1,000人分の調理が可能な炊き出し用かまどや、下水道直結型の簡易トイレなどを保管しています。かつての大地震では、水道水が供給されないことによるトイレ問題が深刻化しました。過去の経験を生かして、次なる災害に備えています。また、地域住民も含めた約2,800人の食料を3日分保管しています。

▼炊き出し用かまど



▲簡易トイレ

関大と防災



大阪府北部地震から1年がたとうとしています。いつどこであのような災害が起こるか分かりませんが、皆さんは防災対策をしていますか？今回は、大学に備蓄されている防災グッズや関大としての防災に関する取り組みを紹介します。

各キャンパスの災害用備蓄倉庫を紹介します！

各キャンパスには、万が一の災害に備えてさまざまな防災グッズを備蓄している倉庫が存在します。ここでは、各キャンパスの備蓄倉庫を紹介します。

高槻ミュージックキャンパス

北館3階に位置する災害用備蓄倉庫には、重傷者の感染を防御するためのテントや、大阪府北部地震で電気供給がストップした際に、高槻駅周辺で大活躍した携帯電話を充電するための発電機などを保管しています。また、キャンパス内にあるプールは、災害時にプールの水を浄化して生活用水に変えられる構造になっており、約400人が30日分の生活用水を確保することが可能です。



▲災害時用テント



▲発電機

堺キャンパス

堺キャンパスの備蓄品にも、25年間保存が可能な“サバイバル®フーズ”と呼ばれる食料などを、アリーナの舞台下に保管しています。また、この場所は市の指定避難所になっています。そのため、地域住民が避難されてきた場合の備蓄品も保管しています。倉庫内には、地域住民も含めた約2,600人の食料を3日分保管しています。



▲サバイバル®フーズ一覧



堺キャンパスに保管中の備蓄品 ▶

◆さまざまな取り組みを展開中！

関西大学では、大学独自の活動や地域住民と協力して行う活動など、さまざまな防災活動に取り組んでいます。また、昨年の大阪府北部地震での経験から、新たに各キャンパスの災害用備蓄倉庫に携帯電話用のAC充電器を保管しました。備蓄している発電機から電源を取り、1個の充電器で6台の携帯電話を充電することができます。その他にも、留学生と一般学生が共に居住する国際学生寮には、吹田市の防災ハンドブックが4カ国語分取りそろえてあり、災害時への備えや災害発生時の対応などを詳しく知ることができます。



▲AC充電器



▲防災ハンドブック

防災を考えよう

2018年に起きた大阪府北部地震などの自然災害時に困ったこととその対処法について、学生の皆さんにアンケートを通して聞きました。また、それぞれの回答について、社会安全学部の近藤誠司准教授からアドバイスをもらいました。これから起こりうる自然災害に備えましょう。

■ アンケート期間：3月14日～3月30日 ■ 対象者：関大生 ■ 回答者数：138人

みんなで一緒に考えよう。
関大誌上教室

Q1 あなたは非常用持ち出し袋を準備していますか？



全国平均よりも、やや低い数値です。

Q2 2018年に起きた大阪府北部地震や西日本豪雨で、①困ったことはありましたか？ ②また、困ったことに対してどのように対処したか教えてください。

は近藤准教授のコメント・アドバイスです。

システム理工学部3年次生

- ①水が足りない。
- ②風呂に水をためた。トイレのタンクの水を利用した。

特に「飲料水」については、あらかじめ備蓄しておくことを強くお勧めします。災害の規模が大きくなるほど、水で困窮します。最初に多めに購入して、使ったら買い足す「ローリングストック法」を心掛けましょう。マンションの場合、停電によって断水する場合がありますので、なおさら備えが必要です。

商学部4年次生

- ①電車が動かない。
- ②自宅待機する。

台風通過時に、自宅待機するという選択肢も重要です。むやみに移動するほうが、かえって危険に巻き込まれるケースも多いからです。ただし、自宅がどのような場所に立地しているかにもよります。より安全な場所に、早期に逃げておくこと(余裕避難)を心掛けてください。

人間健康学部4年次生

- ①引っ越してから3年はたっていたが、防災意識が全くなかったため、避難場所や土地の特徴など知らなかった。そのため、被災した際はさまざまな情報に振り回され困った。
- ②友人と情報を共有し、必要な情報を集めていった。

災害時は、「不安が不安をおおる」という現象がよく起きます。情報の不足を不確かなうわさで埋めようとする短絡した傾向がみられます。ハザードマップなどの情報を事前に把握しておくことのみならず、事態の急変時には、情報を(1)確認すること、(2)更新すること、(3)共有することが大切です。

文学部2年次生

- ①①大阪府北部地震発生後、インフォメーションシステムがつかず、大学に関する情報がなかなか手に入らなかった。
- ②自宅ではいろいろなものが落ちたり、移動したりしていた。倒れかけている棚もあった。
- ②①友人と連絡を取ったり、SNSを使ったりして情報を得た。大学の公式アカウントがとても役に立った。
- ②家族と協力して片付けた。幸い両親が早くに帰宅できたので、落ち着いて行動できた。

肝心なときにウェブサイトにアクセスが集中してつながらないというトラブルがよく生じます。一方で、Twitterなどの情報発信が奏功した場面も数多く見受けられます。賢くSNSの情報を活用しながらも、「情報がないからといって何もできない」という思考停止に陥らないようにしましょう。

理工学研究科M2

- ①①避難する際に何をもち出すべきか分からなかった。
- ②離れて暮らす両親に心配を掛けた。
- ②①インターネットを使い、何が必要か検索してリュックに詰めた。また、避難場所、情報の収集方法について調べた。
- ②帰省した際に家族会議を開き、非常事態があった場合の避難場所および集合場所を相談した。

非常用持ち出し袋に優先的に何を入れておくか考える際には、次の2点を考慮する必要があります。(1)自分は何に困りがちか。自分は何があるとうれしいか。(2)避難所にはすでに何が準備されているか。避難所に行けば補えるものは何か。災害が起きてから、持ち出すものを集め始めても、なかなかうまくいきません。冷静な今のうちから、考えを進めてみましょう(本誌「特集」ページも参照)。

商学部2年次生

- ①茨木市在住だが、ガスが止まったこと。お風呂のお湯が出なかったり、食事を作るときに困ったりした。
- ②カセットコンロと電子レンジでの調理。

オール電化の家庭も増えたことから、カセットコンロなどを備えることに注目が集まっています。カセットボンベを使った発電機なども販売されるようになってきました。一つの手立て(例えば電気だけ)に頼りきるスタイルから、二つ目の選択肢を持つ余裕あるスタイルを探ってみてください。

システム理工学部4年次生

- ①大阪府北部地震の際、大きな被害は受けなかったが、家の中の物が転落してきたり散乱するなどしたりして危険だった。
- ②紐やゴムなどを用いて物が落ちてこないように固定した。

災害の経験を踏まえて、すぐに改善していることが、とても素晴らしいと思います。家具を固定するのは、なかなか難しいものです。背の高い家具は寝室に置かないようにするなど、まずはダウンサイジングを心掛けましょう。その上で、転倒・落下防止策を実施してください。防災は、究極的には、「やるか」「やらないか」の二択です。

文学部4年次生

- ①①お湯が止まった。
- ②一人暮らしなので単純に怖かった。
- ②①友達の家に行って借りました。
- ②友達の家泊まった。

「困ったら頼る」、「頼れる仲間を増やしておく」。これも大切な防災の営みです。切迫した事態の中で、どうにもならないような苦境に陥る前に、気軽に相談できる友達、気安く手を貸し借りできる友達をつくっておきましょう。

文学部4年次生

- ①停電になったこと。
- ②ろうそくで懐中電灯を準備しておいてそれで対処した。

日本では、普段停電になることが少ないぶん、電気がなくなると、途端に日常の暮らしが送れなくなり困窮します。キャンプ用品は災害時に応用が利きます。ランタンなども使い慣れておくことと便利です。なお、地震時のろうそくの使用は、火災のリスクを高めるので注意してください。

社会学部4年次生

- ①台風が直撃して停電したこと。
- ②ブレーカーを落とす→懐中電灯をつける→家族に連絡を取る。

地震などで停電した際に、ブレーカーを落として待機することは重要です。復電した際に思わぬところでショートして火災が発生するトラブルを、未然に防ぐことができるからです。特に避難所に行く際には、ブレーカーを落としてから移動することを、一つの「避難行動のパッケージ」として覚えておいてください。

システム理工学部4年次生

- ①地震が実際に起きたときに、どう行動すればいいか判断に時間がかかった。
- ②家族と緊急時の集合場所などを再確認したり、災害時にどうすればいいか話し合ったりした。

あらかじめ家族で話し合っ、緊急時の集合場所などを決めておけば、たとえ通信が途絶して連絡が取れなくなっても、「初動」の取り方を素早く判断することにつながります。「防災家族会議」は、家族の絆と安全をより確かなものにします。ぜひ、家族の誕生日などに実施してみてください。

文学部2年次生

- ①地震当時は地下鉄の中で1人だったので、とても不安だった。交通機関が麻痺し、その後、昼過ぎまで帰宅できなかった。豪雨の日は、前日の時点で大雨になることが分かっていたのに、休講情報は出なかった。しかし、学校に着いた瞬間に全日休講という情報が出た。教室で教授から休講の知らせを聞いてがっかりした。
- ②SNSを使って友達と情報のやり取りをしたり、マップを見て時間をつぶせる場所を探したりして待機した。

特別警報や避難勧告・避難指示、土砂災害警戒情報等が出ないか確認する他、現時点で一つの目安となる情報は、JR線などの「計画運休」の事前通知です。被害が出る前の余裕を持った判断と行動を許容できる社会を、みんなの手で構築していきましょう。

文学部4年次生

- ①自分自身は特に被害はなかったが、クラブの部長をしていたので、部員の安否確認が取りづらかったこと。
- ②クラブで共有しているLINEで「困っていませんか?」と声掛けをした。結果、普段から防災意識の高い部員がアドバイスしたり、下宿先が近い部員で団結したりと、部長である自分自身が何かするということ以上に、お互いに助け合いが活発化した。

最近では、LINEで共有された情報によって、救助活動がスムーズに行われたケースも増えています。災害時に無事だった人は、ぜひ「情報支援」というボランティア的な動き掛けがあることを想起してください。皆さんにも、力になってあげられることはあります!

“社安10周年”プレ企画シリーズ 続々スタート!

社安(しゃあん)のネーミングで親しまれている社会安全学部が、2020年春に10周年を迎えます。節目を記念する企画が盛りだくさん。まず、社会安全学部連続セミナー「危機の時代」を夏まで開講。産経新聞紙面でも講義内容を紹介し、そして夏には、リスクマネジメント戦略をテーマとした国際シンポジウムを開催します。詳しくは、リニューアルした学部ウェブサイトへアクセス!



PROFESSOR'S COMMENTS 社会安全学部 近藤誠司准教授

皆さんは、災害に対する暮らしの備え、していますか? 防災という営みは、するか、しないか、その二択です。どんなに頭でかちかち知識だけ詰め込んでも、何もしなければ防災力は高まりません。確かに、完璧に防御することは難しい。だから少しでも被害を軽減する手立てを講じていこうとする備えが、「減災」です。そしてさら

に、社会安全研究センター長の河田恵昭先生が提唱しているのが、少しでも早く被害から回復できるようにしておく対策、すなわち「縮災」です。被害が出て、しなやかにやり過ごす巧みな方略です。

“防災・減災・縮災”の3点セットに、すでに取り組み始めている人もいますことでしょう。その方は、ぜひ、保護者や親戚、友人・知人にも、備えを充実するように勧めてください。知恵やアイデアを共有することが、災害という「難敵」に立ち向かう上で、大きな支えとなります。この誌面からも、仲間たちの教訓や工夫を見つけて、実際に生かすようにしてください。

次回のテーマは… 「ソーシャルメディアの危うさ、知っていますか？」

昨今Twitter等への不適切投稿が社会問題化しています。次号の7月号では、ソーシャルメディアの危険性や付き合い方を考えます。

5月・6月合併号「関大誌上教室」アンケート プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「防災を考えよう」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(6月10日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



教育業界／大学教員

名城大学 法学部 准教授

松田 真治さん

滋賀県立彦根東高等学校出身

2010年法学部卒業

2012年法学研究科修了



「先生、分かりました」は、教員冥利に尽きる言葉。
得意分野を突き詰めることに、やりがいを感じます。

関西大学大学院法学研究科出身の松田真治さんは、法学部時代笹本幸祐教授のゼミで、「経済学の知見を使って法律を検証する」という法律への新しいアプローチ方法を学んだことから研究職に興味を持ち、大学院に進学したそうです。海外の法律を調べて日本の法律と比較検討するために、大学院ではフランス保険法について研究しました。

2015年から帝京大学法学部助教に就任し、2年生の会社法、3年生の消費者法と保険法の講義を担当しました。特に会社法の講義では、経済学の視点を取り入れ、一般的な法学とは異なるアプローチに挑戦したそうです。「助教になって驚いたのは、講義の準備や事務仕事、学生の相談の対応など、授業以外の業務が多いこと」と松田さん。

4年間の助教職を経て、今年の4月に名城大学法学部の准教授に着任し、現在は週2回、手形・小切手法の授業を担当しています。講義は半期で30回あり、細かな点まで深く教えることができる一方、準備が助教時代以上に大変になったそうです。特に、学生になじみのないカタカナ書きの条文や難しい学説などを、分かりやすい言葉に言い換えて説明することを心掛けているのだとか。その努力が実を結び、学生に理解してもらえた時は、やりがいを感じるそうです。大学在学中、市民の法律相談を受ける課外活動団体である法律相談所に所属していた松田さんは、「法律に詳しくない人たちに、専門用語を使わずに分かりやすく説明していた経験が生きています」と語ります。また、日本の商法の分野ではフランス保険法の研究をしている研究者が少なく、「フランス保険法といえば松田に聞け」と意見を求められる機会も増え、研究者として世間に認められていることを実感した時にも、やりがいを感じるそうです。

一方、最近の悩みは、学生に判例の検証を依頼すると、インターネットに掲載された情報をそのまま引用してくる場合が多いこと。そんな時は、その情報が正しいかどうかを疑い、条文や判例の原典に当たるようアドバイスしているそうです。大学生活で、学生に取り組んでほしいことが2つあると松田さんは言います。「4年間で、学内でこの分野に一番詳しいのは自分だ、と言えるものをつくってほしい」ということと「しっかりと授業を受けて、分からないことはどんどん先生に聞いてほしい」ということです。「社会に出ると誰も教えてはくれません。人に聞けるのは学生の特権ですし、分からないことを突き詰めれば、きっとその分野の1番になれると思います」とアドバイスをくれました。

ある1日のスケジュール

- 7:00 起床
- 9:00 出勤
- 10:50 手形・小切手法 講義
- 12:20 昼休み
- 13:30 ゼミの準備・資料作成
- 14:50 ゼミ
- 16:20 翌日の講義の準備
- 20:00 退勤



必須アイテムは、テキストとサブテキスト、ノート、マーカーとペン。マーカーは自身のルールにのって色分けをするために使う。

Associate Professor

VIVA!!

学び易



システム理工学部 機械工学科

「特別研究1(機械設計研究室)」 谷弘詞 教授

「学の実化」を目指して。IoT社会に貢献する研究。

企業との共同研究を通して自ら考え、世の中にあるものを作り出す力を身に付ける。

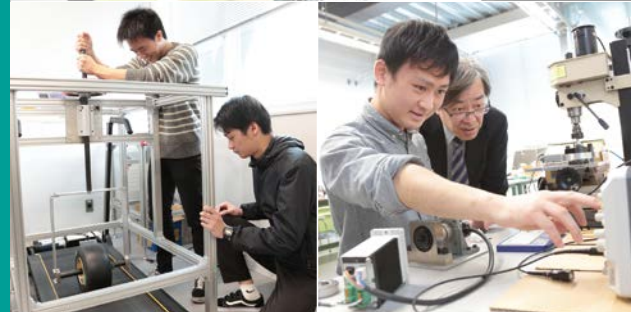
機械設計研究室の特別研究は、現在4人の教員が、4年次生21人、大学院生17人を指導しています。

中でもIoT(モノのインターネット)社会に役立つ研究開発を進めている谷弘詞教授の研究室では、数年前から「摩擦で発生する静電気を電力に変換する研究」や「発生した静電気にセンサー機能を持たせる研究」に取り組んでいます。具体的には、自動車のタイヤの中にセンサーを組み込み、路面とタイヤの摩擦を検知し、タイヤの摩耗状態を検出するものです。今後は自動運転やカーシェアリングが需要の主流になるため、人の手を介さず自動管理することが目的です。また、回転によって自家発電できるために電池がいらないことも特長です。同時に、軸の回転運動や往復運動を容易にするための機械部品である小型の軸受(ベアリング)にも、超薄型の板を埋め込み、発電しながら静電気で潤滑油の状態をモニターする研究も進めています。

この分野の研究は、アメリカや中国に比べて日本は遅れています。とはいえ、世界でもまだ実用化には至っていないため、日本で最初に実用化しようと企業と共同研究を行っています。月に数回タイヤメーカーを訪問し、事前に送っていただいたセンサーを組み込んだタイヤを、巨大な試験装置を使ってデータを取るのです。実験だけでなく、学生は研究者と昼食を共にして雑談や意見交換をするなど、社会勉強の場としても活用しています。

「この研究では、物づくりの設計活動プロセスを学んでほしい」という谷教授。つまり、物づくりに必要な機能や性能目標を立て、それを実現するための構造を検討・評価し、失敗した時は修正を繰り返して、完成したものを世の中にアピールしていく、という流れです。それが理解できる研究プロセスを取っており、この一連の流れを実践していると、自分で考えながら物事を進める力が付くそうです。「関西大学の学是が『学の実化』なので、学生には、世の中の役に立つ研究をしないとっています。自分で考え、世の中にあるものを自分で作りだす楽しさを知ってほしいです」と谷教授。

最後に「研究を通じて、自分だけの得意なところを身に付けてください。得意とは、その分野に自信があるということです。好きなことを突き詰めると、努力しただけの自信が付きます。自分はこれだけやったんだという自信を持って、社会で活躍してほしいですね」と熱く語りました。



岡崎涼平さん(4年次生)

自動車のハードウェアの研究を希望していたので、早期特別研究に入りました。堅苦しい雰囲気はなく、メンバーとの話し合いが多いアットホームな研究室です。今後は大学院に進学し、軸受の研究を継続する予定です。



鈴木光さん(理工学研究科2年次生)

物の製作や解体、また自動車に興味があったので、この研究室を選びました。タイヤに発電機を搭載した研究は実用化が近いので、やりがいを感じます。研究を通して、実験までの綿密な準備が大切だということ学びました。自由に意見が言える風通しの良い研究室です。



谷弘詞 教授

研究室ではIoT向けの開発に力を入れているため、例えば「歩くと発電する発電靴の研究」や「摩擦をレーザー光線で制御する」といった、まだ世の中にある面白い研究ができます。企業との共同研究も特長です。実験が好きで、世の中をあとと言わせるものを作りたい」という、好奇心旺盛な学生に来てほしいと思います。





4キャンパスから年間569tのゴミ

関西大学は3万人を超える学生が学ぶ大規模校のため、快適な教育環境を維持するにはそれなりの作業と気配りが必要です。普段は学生とあまりやりとりのない清掃担当者の仕事ぶりをレポートします。



「窓拭きにもコツがいります」と山本富美さん

作業は朝6時スタート

千里山キャンパスの第2、第4学舎とその周辺の清掃などを担当している約40人のグループの中心が和田稔さんです。意外なのは朝の仕事始めがかなり早いことです。日曜日と祝日を除き、毎日午前6時スタートです。両学舎で計5人が手分けして教室や事務室などのカギを開けることから始まります。全ての教室の机を一つ一つ拭き、手分けして床に掃除機をかけます。

忘れ物に地下足袋?!

この作業で多く見つかるのが忘れ物です。前日の授業で使った教科書、ノート、筆記用具などの学用品、着替えの服などを入れたリュックサック、財布にスマートフォンなどの貴重品から珍しいものでは地下足袋。部活動か何かで使うものか、あるいはアルバイト用か。学生の中には、たまにアルバイトで建設労働者として精を出す人もいます。

午前7時ごろには清掃担当者の人数は30人ほどに増えます。建物の各階にあるトイレや建物周辺の掃除に汗を流します。夏は8時ごろには汗だくになりますし、冬の屋外清掃では防寒具が欠かせません。しかし、作業が進むと冬とはいえ、汗ばむときもあり、その日の天気予報で服装を決めるのは健康管理をする上で大切です。ある担当者は「私は汗かきなので、真夏なら着替えの下着を3組持参することもあります」と話します。

和田さんは、真夏には熱中症対策としてメンバーの水分補給に気を遣うそうです。作業員は中高年が多く、作業中は水を飲んだらダメと思いついでいる人もいますか。「極端に言えば生死にも関わることなので、皆さんに遠慮なく水分補給するよう注意を促すことが私の大切な仕事の一つです」

要注意は“音”

清掃作業で意外な注意点は“音”だそうです。教育研究機関ですから、一定の静けさも必要です。試験期間でなくても、教室によっては小テストを行っているところもあります。授業の行われている教室近くで掃除機をかけるのは気を遣いますし、モップの使い方も注意が必要です。柄や先端部分が何かに接触して起きる小さな音も、学生や教員にとっては時として「大きな雑音」になりかねません。

もう一つ作業員が気を付けるのは「背後」です。モップ拭きにしる、階段の掃除にしる、基本的に後ろに下がっていきます。絶えず自分の後ろに注意しながら作業しないと、思わぬ事故が起きかねません。

紙ゴミはトイレトペーパーに

さて、それでは関西大学の千里山・高槻・高槻ミュージズ・堺の4キャンパスでは一体、どれくらいのゴミが回収されているのでしょうか。

年間のゴミの量は別表の通りですが、特徴的なのはゴミの約3割がシュレッダーにかけられた書類や新聞、雑誌、ダンボールなどの紙資源です。

これらは、関西大学の各施設で使用されている関大オリジナルのトイレトペーパー(KUEコロール)などに生まれ変わります。ちなみに、KUEコロールは年間約40t(2,400ケース)生産されています。

キャンパス	合計	うち再生用の紙資源
千里山キャンパス	477t	156t
高槻キャンパス	37t	16t
高槻ミュージズキャンパス	42t	16t
堺キャンパス	13t	3t
総計	569t	191t



「モップを使うときは背後に注意」と杉本隆さん



人間健康学部 4年次生

菰方 智恵子 さん

誰でもできることを、誰よりもとことんやる。粘り強さと協調性が私の力です。

関西学生リーグ2部に所属する体育会バスケットボール部女子の主将である菰方智恵子さんは、1部昇格を目指して練習に励んでいます。小柄ながらも生き生きとボールを追う姿は、見る者を引きつけます。

小学3年生からバスケットボールを始め、中学・高校共に強豪校で主将を務めました。指定校推薦で関西大学に入学すると、すぐにバスケットボール部に入部。しかし、入部当初は、試合はおろかゲーム形式の練習メンバーにも選ばれない日々が続きました。そんな中、落ち込む彼女を励ましてくれたのは、同じ境遇にいた3年次生の先輩たちでした。「今できることを一緒にがんばろう」。そう支えてくれたおかげでやる気を取り戻せたそうです。

2年次になり、持ち前の忍耐力で努力を続けた結果、9月のリーグ戦から徐々に試合に出場できるようになりました。技術面だけでなく、声を出してチームの雰囲気盛り上げる姿勢や、諦めずにボールに食らいつく粘り強さが評価されたのです。

3年次のリーグ戦では2位となり、1部リーグの下位チームとの入替戦に臨むことになり、関西学院大学との3試合に挑みました。2勝すれば昇格ですが、1戦目に大敗し後がなくなります。「1部に上がってリーグ戦を終えよう」を合言葉に、ここ一番の団結力で臨んだ2戦目は見事勝利。1勝をもぎ取った時は至福の喜びを味わったそうです。しかし、3戦目に敗れて昇格は達成できず、悔しい思いが残りました。

リーグ戦終了後、同期で新チームの方向性を「チーム力の向上を図る」に決めました。主に、交代選手として出場していた菰方さんは、プレーヤーの気持ちも控ええ選手の気持ちも分かり、コミュニケーション力も高く、先輩が話しやすい人柄だったことから、主将に推薦されました。主将に就任した当初は、技術面が秀でた歴代の主将と自分を比較してしまい自信をなくしかけますが、同期や高校時代の顧問に相談すると、「自分の長所に目を向けて、自信を持ってチームを引っ張ってほしい」と言われました。そこで、自分の長所は粘り強さと協調性だと気づき、コート内では誰よりも声を出し、コート外では部員の変化に注意を傾けることに尽力しました。体育会各クラブの主将・副将・主務が集まって意見交換するリーダーズキャンプに参加した際には、チームメート一人一人と個人面談をして、それぞれの悩みを聞いているという他クラブの話聞き、早速自分のクラブでも実践したそうです。

「企業への就職か、子どもの頃からの夢である教師になるか迷っていますが、どちらに進んでも、クラブで培った周囲と協力し組織をまとめて引っ張る力を生かしながら、「誰でもできることを徹底して行う」をモットーに、社会貢献したいです」と笑顔で語りました。



2018年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦での様子

次回は、菰方さんからのご紹介で明石華奈さん(人4)が登場。お楽しみに!



Chieko Komokata

2019年度予算編成の概要

— さらなる教育の質向上を目指して —



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三

1 予算編成の概要

1886(明治19)年に創立され、1922(大正11)年に大学令により大学として認可された関西大学は、時代を越え、2022年には大学昇格100年を迎えます。「建学の精神」をふまえ、時代に適応した教育研究を追求し続け、本学を巣立った学生は47万人を超えました。

人生100年時代や超スマート社会の到来は、大学における「教育」「研究」「社会貢献」「組織運営」等のあり方にも、変革を求めています。本学が長き歴史のなかで培った知恵やネットワークを生かし、新しい時代の要請に応える学園創出に努めてまいります。

さて、2019年度予算は、2019年3月28日開催の理事会において承認されました。

2019年度は、政府が進める「AI戦略」の中心を担うべき人材育成を見据え、学生自身がノートパソコン等を持参して学ぶBYOD(Bring Your Own Device)を推奨し、自律的に学ぶ環境の整備を進めます。各キャンパスの無線LAN(KU Wi-Fi)環境については、年次計画で整備を推進しているところです。また、近年頻発する自然災害に備え、本学施設の防災機能の強化を図り、耐震未対応の建物等の耐震改修工事や既存エレベータの耐震補強工事、老朽化したブロック塀の改修工事等を行い、安全・安心なキャンパスを一層志向してまいります。

2019年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」とおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

2019年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 学部・大学院における教育改革の推進

文学部における国際教育プログラムの構築、政策創造学部における国際化プログラムの充実、システム理工学部におけるAI・IoT教育システムの構築、法務研究科における改革のさらなる推進、臨床心理専門職大学院における心理臨床センターの機能を生かした教育機能の深化と社会貢献事業の新たな展開等の教育改革を推進します。

イ 総合情報学部創設25周年記念事業および外国語学部創設10周年記念事業の実施

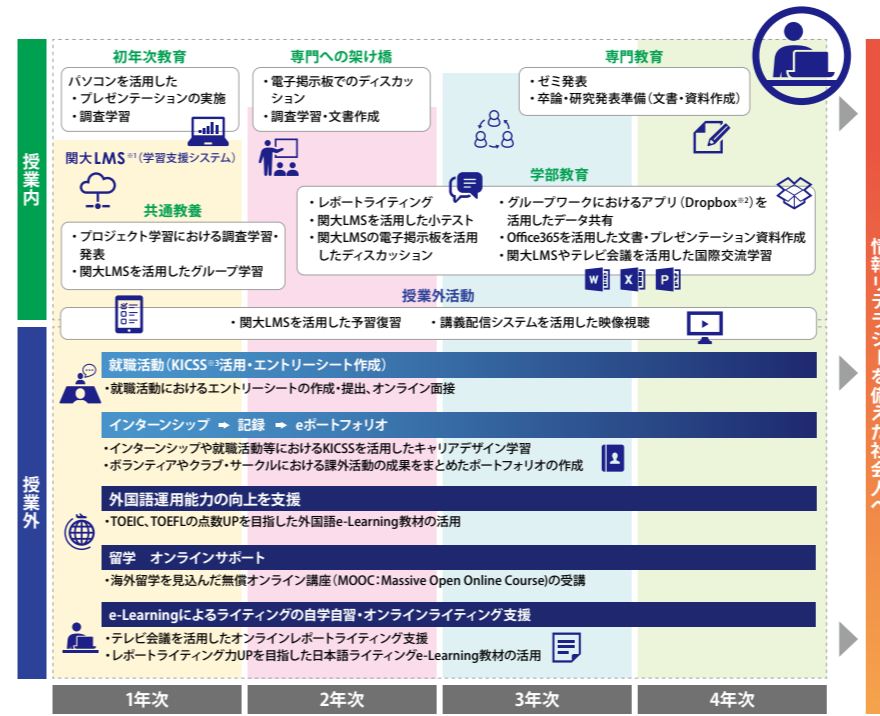
「確かな情報フルエンシーと幅広い視点」、「高い倫理性と問題発見・課題解決能力」を身に付けることを目指し、1994年に開設した総合情報学部では、2019年4月28日に創設25周年記念式典を挙行し、式典挙行後には大同窓会を開催しました。また、「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる人材の育成を目指して、2009年に開設した外国語学部では、創立10周年を記念して、10月12日に、外部識者による基調講演や、卒業生・在学生を交えたパネルディスカッションなどを行う記念式典を挙げるほか、記念冊子の刊行や卒業生組織の設立を予定しています。

ウ 集中英語講座[KU Intensive Communication(KUICC)]の導入

外国語学部がプログラムコーディネートをを行い、特任外国語講師が講師となる、集中英語講座を新たに開講します。集中英語講座では、習熟度別・少人数のクラス編成による、国内で充実した「留学体験」ができ、語学力、コミュニケーション力を育みます。

エ BYOD(Bring Your Own Device)の推奨に伴う学修環境の整備

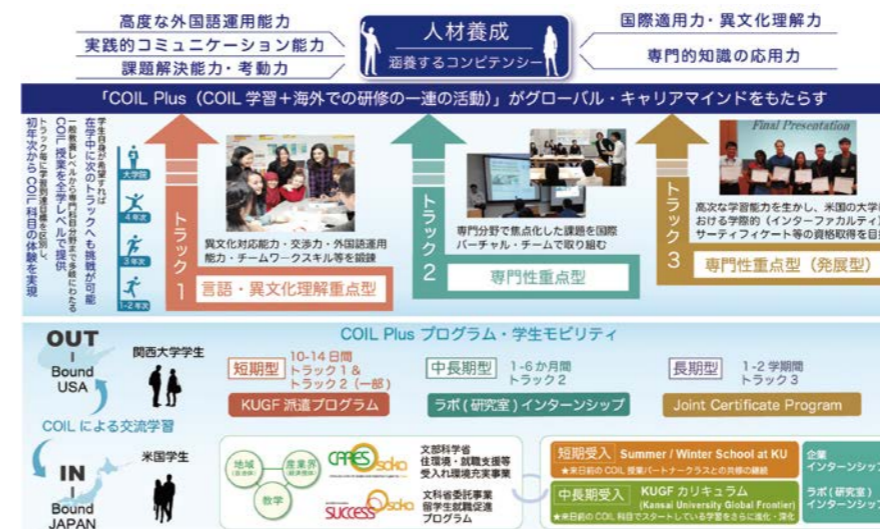
大学では、レポートやプレゼンテーション資料の作成、学習支援システム(LMS)の活用、e-Learningを用いた自学自習等、日常的な学習活動においてパソコン等を活用しており、2019年度入学生から、自律的に学ぶ力を育成するために、学生がノートパソコン等を持参して学ぶBYODを推奨します。



[BYOD(Bring Your Own Device)]

オ 2018年度採択 文部科学省 大学の世界展開力強化事業「グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム」の推進

本プログラムでは、COIL(Collaborative Online International Learning・オンライン国際協働学習)方式により、ICTツールを活用し、海外の学生とプロジェクト型学習を行います。また、本学学生と米国の学生がCOIL方式で共に学んだのち、海外現地に赴き就業体験や企業訪問、専門のテーマに沿った授業の受講など多彩な活動に参加し、帰国後に再びCOIL方式で共修します。これにより、自らの将来の可能性を国境や言語、文化の壁を乗り越えて考える「グローバル・キャリアマインド」を醸成します。



カ 文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に係る戦略的な研究体制整備の推進

学長のリーダーシップのもと、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を打ち出す取り組みである私立大学研究ブランディング事業を中心に、研究活動を引き続き推進します。

2017年度採択の「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究」では、「世界的な東アジア文化研究を牽引する関西大学」としてのブランド確立を引き続き目指します。オープン・プラットフォーム委員会を設置し、デジタルアーカイブの運用を強化するとともに、各ユニットの研究活動を推進します。また、広報面では、研究者のみならず、学生や一般市民を含めた幅広いステークホルダーに対し、国際シンポジウムをはじめとしたイベントなど、特色あるさまざまな取り組みを検討・実施します。

2016年度採択の「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」では、関大メディカルポリマー(KUMP)デバイスの有効性を前臨床試験による確認や試作品の作成と工業的生産方法の検討などを行います。臨床医からは試験使用に係るその操作性や使用感などをインタビューし、最終商品形態に反映させるとともに、研究成果を国内外に広く周知し、ブランド化に向けた取り組みを実施します。並行して、研究成果をベースにベンチャー企業の設立や関大メディカルポリマー研究所(仮称)の設立に向けた検討を行います。

キ 「関西大学ベンチャー育成プラットフォーム」(KU+UP)の推進

2018年度に創設した「関西大学起業資金支援制度」は、学生の起業マインドの醸成および研究成果の事業化を推進することを目的に、学生および専任教員を対象として、起業の「シーズ段階」から「アーリー段階」のベンチャー企業に対し、起業時の必要資金などの支援を行うものです。この制度を包含する「関西大学ベンチャー育成プラットフォーム」(KU+UP)は、教育的意義を重視した取り組みであり、民間のベンチャーキャピタルなどから投資を受けることが困難なスタートアップの段階でも、起業家としての将来性やその可能性を評価できる場合には、資金面に加え、経営面、人的面を含めた総合的な支援を金融機関と連携してトータルで行うなど、大学発ベンチャーの支援を推進します。

ク 学生アスリート向けキャリア形成支援プログラムKSAPの推進

2018年度にスポーツ庁の「大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業」に採択された、学生アスリートの人間形成・競技力の向上を目指すプログラム「KSAP(KAISERS Student-Athlete Program)」を展開し、本学におけるスポーツ文化の醸成を企図する基本理念および規範を定めたスポーツ憲章を定めるとともに、関大LMSを利用して、個人ごとの修学および競技に関するデータを蓄積し、分析するポートフォリオの構築を行います。

ケ キャリア形成および就職支援の充実

学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、教育を担う学部(大学院)との連携も視野に入れながら、多様なキャリア形成支援の取り組みを引き続き展開します。また、2018年度に策定したインターンシップに関する基本方針に基づき、より教育的効果の高いプログラムを構築し、下位年次生の参加を積極的に促します。

また、キャリア形成の先にある就職においては、学生がより広い視野を持って「仕事」と向き合い社会で活躍できるよう、学生や社会からのニーズ、将来的な展望等を踏まえた新たな有力企業との出会いの場を創出するとともに、OB・OGの協力を得て(人材バンク制度(仮称)の構築等)、体系的な学内行事を順次導入していきます。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 未耐震建物の耐震改修等工事

レジリエンスキャンパス構想の一環として、大学施設・設備の防災機能を強化し、安全・安心なキャンパスの整備を図るため、これまでも未耐震建物の耐震化工事を行ってきました。耐震化の進捗状況としては、2018年度末までに学舎群及び学生福利厚生建物は全て完了しており、2019年度は関西大学会館等の未耐震建物全てについて、耐震改修、解体、または建替えを行います。

天井の耐震改修については、国土交通省が天井耐震化を指導する「特定天井(高さ6m以上、広さ200㎡以上)」である第1学舎1号館(千里ホール)について改修工事を行います。

このほか、今後の激甚災害に備え、既存エレベータの耐震補強工事、コンクリートブロック塀の法適合工事を行い、安全・安心なキャンパス空間を確保します。

3 収支予算書

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『事業活動収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『事業活動収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために、2018年度補正後予算および2019年度予算を踏まえ、『予想貸借対照表』を作成しています。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

2019年度資金収支予算は、12ページに掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、508億8,600万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、501億4,400万円となりました。この結果、差し引き7億4,200万円を前年度繰越支払資金133億8,400万円に加え、翌年度繰越支払資金は141億2,600万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

2019年度事業活動収支予算は、12ページに掲載の『事業活動収支予算書(総括)』のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は12億9,100万円の収入超過となり、対前年度比較で8億6,700万円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は4億3,900万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は17億3,000万円の収入超過、対前年度比較で9億2,200万円の増となりました。これに施設設備に対する寄付金や補助金、資産の処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額9,600万円の収入超過を加え、予備費を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は13億2,600万円の収入超過となり、対前年度比較で10億8,800万円の増となりました。一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、20億6,400万円となり、対前年度比較で9,500万円の増となりました。

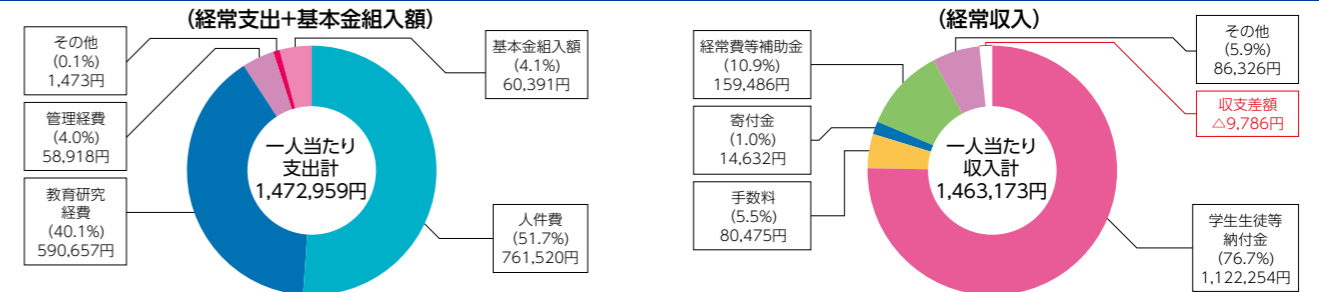
2019年度予算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた7億3,800万円の支出超過となり、対前年度比較で9億9,300万円の減となりました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、282億6,300万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額の外に、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が60億3,600万円ありますので、実質上の繰越収支差額はこれをあわせた342億9,900万円の支出超過となります。

なお、2019年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

2019年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)および収入(教育活動収入、教育活動外収入)の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数34,064人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 2019年4月1日から2020年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	2019年度予算	2018年度予算	増減	科目	2019年度予算	2018年度予算	増減
1 人件費支出	26,029,975	25,783,302	246,673	1 学生生徒等納付金収入	38,249,389	38,491,753	△ 242,364
2 教育研究経費支出	14,328,725	14,806,073	△ 477,348	2 手数料収入	2,728,437	2,706,649	21,788
3 管理経費支出	1,795,218	1,891,620	△ 96,402	3 寄付金収入	470,000	460,000	10,000
4 借入金等利息支出	23,650	40,591	△ 16,941	4 補助金収入	5,466,498	5,074,049	392,449
5 借入金等返済支出	1,297,190	1,536,070	△ 238,880	5 資産売却収入	0	502,683	△ 502,683
6 施設関係支出	1,391,532	1,707,808	△ 316,276	6 付随事業・収益事業収入	1,078,727	1,044,769	33,958
7 設備関係支出	1,635,637	1,595,053	40,584	7 受取利息・配当金収入	463,238	425,212	38,026
8 資産運用支出	2,580,442	3,928,317	△ 1,347,875	8 雑収入	1,392,848	1,295,745	97,103
9 その他の支出	2,146,585	3,348,674	△ 1,202,089	9 借入金等収入	0	0	0
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,549,577	6,282,301	267,276
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,585,069	△ 1,635,193	50,124	11 その他の収入	1,769,319	3,690,003	△ 1,920,684
12 翌年度繰越支払資金	14,125,653	13,383,616	742,037	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 7,282,111	△ 7,440,290	158,179
				13 前年度繰越支払資金	(50,885,922)	52,532,874	△ 1,646,952
					13,383,616	14,353,057	△ 969,441
支出の部合計	64,269,538	66,885,931	△ 2,616,393	収入の部合計	64,269,538	66,885,931	△ 2,616,393

(注) 「2018年度予算」は第2次補正後予算を示す。

事業活動収支予算書(総括) 2019年4月1日から2020年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科目	2019年度予算	2018年度予算	増減	科目	2019年度予算	2018年度予算	増減
1 学生生徒等納付金	38,249,389	38,491,753	△ 242,364	1 資産売却差額	0	2,683	△ 2,683
2 手数料	2,728,437	2,706,649	21,788	2 その他の特別収入	117,600	124,210	△ 6,610
3 寄付金	477,000	466,000	11,000	特別収入計	117,600	126,893	△ 9,293
4 経常費等補助金	5,451,898	5,058,839	393,059				
5 付随事業収入	1,078,727	1,044,769	33,958	1 資産処分差額	22,040	113,486	△ 91,446
6 雑収入	1,392,848	1,295,745	97,103	2 その他の特別支出	0	83,991	△ 83,991
教育活動収入計	49,378,299	49,063,755	314,544	特別支出計	22,040	197,477	△ 175,437
				特別収支差額	95,560	△ 70,584	166,144
1 人件費	25,954,333	25,796,886	157,447	予備費	500,000	500,000	0
2 教育研究経費	20,124,838	20,839,142	△ 714,304	基本金組入前当年度収支差額	1,326,030	237,891	1,088,139
3 管理経費	2,008,246	2,003,873	4,373	基本金組入額合計	△ 2,063,797	△ 1,969,105	△ 94,692
4 徴収不能額等	0	0	0	当年度収支差額	△ 737,767	△ 1,731,214	993,447
教育活動支出計	48,087,417	48,639,901	△ 552,484	前年度繰越収支差額	△ 27,524,863	△ 25,793,649	△ 1,731,214
教育活動収支差額	1,290,882	423,854	867,028	翌年度繰越収支差額	△ 28,262,630	△ 27,524,863	△ 737,767
1 受取利息・配当金	463,238	425,212	38,026				
2 その他の教育活動外収入	0	0	0				
教育活動外収入計	463,238	425,212	38,026				
1 借入金等利息	23,650	40,591	△ 16,941				
2 その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	23,650	40,591	△ 16,941				
教育活動外収支差額	439,588	384,621	54,967				
経常収支差額	1,730,470	808,475	921,995				

(注) 「2018年度予算」は第2次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 2020年3月31日

資産の部				純資産の部			
科目	2019年度末	2018年度末	増減	科目	2019年度末	2018年度末	増減
固定資産	208,165,672	209,052,572	△ 886,900	基本金	224,810,874	222,747,077	2,063,797
有形固定資産	112,155,443	115,232,032	△ 3,076,589	第1号基本金	201,387,444	199,344,089	2,043,355
特定資産	93,349,242	91,132,978	2,216,264	第3号基本金	20,010,430	19,989,988	20,442
その他の固定資産	2,660,987	2,687,562	△ 26,575	第4号基本金	3,413,000	3,413,000	0
流動資産	15,451,697	14,598,570	853,127	繰越収支差額	△ 28,262,630	△ 27,524,863	△ 737,767
資産の部 合計	223,617,369	223,651,142	△ 33,773	翌年度繰越収支差額	△ 28,262,630	△ 27,524,863	△ 737,767
				純資産の部 合計	196,548,244	195,222,214	1,326,030
1 固定負債	16,393,795	17,964,492	△ 1,570,697	負債および純資産の部 合計	223,617,369	223,651,142	△ 33,773
流動負債	10,675,330	10,464,436	210,894				
負債の部 合計	27,069,125	28,428,928	△ 1,359,803				

学部・研究科ピックアップ

法学部 / 法学研究科

G20大阪サミットを前に

今月末、大阪でG20サミットが開催され、主要国の首脳が集結します。日本はG7の一員としてサミットをこれまで東京、沖縄、北海道、伊勢志摩で計6回開催してきましたが、G20の議長国となるのは初めてです。大阪でこれほど重要な会議が開かれるのは、24年前のAPEC(アジア太平洋経済協力)以来です。世界の眼が大阪に集まる機会に、国際関係に関心を持ってください。法学部では、国際関係について学ぶ科目が多数用意されていますし、今年度からは「国際政治経済論」という新設科目も開講されています。

(教学主任 池田慎太郎教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

海外で日本語を教える体験

文学部では2013年度に日本語教師養成講座を開講しました。講座の受講生には、国の内外で模擬授業体験の機会が用意されています。今年2月にも、マレーシアのイスラム国際大学およびヘルプ大学において模擬授業が実施され、参加者たちは日本語教育を通じて異文化交流を楽しみました。

(教学主任 宮本要太郎教授)

経済学部 / 経済学研究科

新入生歓迎行事を開催しました

障がいのある方が家族・友人と一緒に野外活動やスポーツを楽しめる環境づくりを追求する一般社団法人ata Alliance代表の中岡亜希氏にご講演いただきました。中岡氏自身も車いすでスキーや登山に挑戦されており、自分で限界を作らないことの大切さなどをお話いただきました。

(副学部長 鈴木智也教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

商学研究科進学者の早期卒業制度

本学部は、「商学部・商学研究科5年一貫教育プログラム」による早期卒業制度を導入しています。成績等に関する所定の条件を満たし、大学院入試(10月募集)の口頭試問に合格すれば5年間で商学部卒業(学士の取得)だけでなく、商学研究科博士課程前期課程を修了(修士の取得)することができます。これは、税理士志望者にとっても有意義な制度です。志望者は6月中旬～下旬に教務センターへ申し出る必要があります。詳細については教務センターで確認してください。

(副学部長 馬場英朗教授)

社会学部 / 社会学研究科

三浦ゼミABCラジオ番組企画

ラジオの若者対策の提案をABCラジオに行いました。ゼミ生は毎回の番組企画会議に参加、公式Twitterアカウントの運営も行いました。結果はTwitterでのホットワード1位、トレンド入りも果たしました。

(三浦文夫教授)

専門職大学院トピックス

法科大学院

無料法律相談を実施しています

本法科大学院では、設立以来10年以上にわたり、社会貢献につながる授業の一環として、市民の皆さまを対象に、無料法律相談を実施しています。

本法律相談では、弁護士資格を有する法科大学院教員と、守秘義務を課された法科大学院学生が、協働して市民の皆さまが抱える法律問題の解決に向け知恵を絞り、具体的助言を行うこと等を通じ、実務感覚に優れ、市民に寄り添うことができる法律家の養成を目指しており、相談者の皆さまからも好評を得ています。

詳細については、こちらからご確認ください。



(大住洋特別任用准教授)

併設校トピックス

関西大学幼稚園

新入園児を迎えて・・・

昨年秋に子どもたちが植えたチューリップが色とりどりの花を咲かせ、桜の花が満開の中、4月8日に進級式、4月10日に入園式を行い2019年度がスタートしました。新入園児が初登園する朝、年中・年長児は少し緊張した顔つきで、体操服を着た年少児を保育室まで連れて行く頼もしい姿がありました。これから始まる園生活、先生や友だちと過ごす中で遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

(園長 中村友香)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

新入生合宿の実施

4月12～21日にかけて、政策創造学部の独自プログラムである新入生合宿を3回に分けて実施しました。この合宿では、キャリアデザインに関するレクチャーや、新入生によるグループワークなどが行われました。キャリアデザインのレクチャーでは、社会に出るまでの間にどのように自分の将来像を形成・実現するのかを検討し、グループワークでは現代社会における重要な諸問題および政策案について、その是非を討議しました。以上の活動を通じて、新入生同士の交流が図られました。

(学生主任 五十嵐元道准教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

書を捨てよ、町へ出よう

大学では、さまざまな書物に触れる機会があります。例えば、寺山修司の『書を捨てよ、町へ出よう』。自己矛盾的な本書のタイトルは、フランス人作家アンドレ・ジイドの『地の糧』から着想を得たようです。若き日の寺山がジイドを読んだように、豊富な読書量は大学生として大切なことですが、書から得られたものが単なる情報で終わらぬよう、実社会でその知識を試してみることも大切です。今日、学んだ外国の「ことば」を実感するために、書を閉じて、町へ繰り出してみませんか。さあ出かけよう!

(田島義士准教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

プロジェクト・アドベンチャー

学びの基礎を築くことを目的に体験型教育を行っています。冒険を活動の柱にして、個人の成長と人間関係づくりを支援し、自己との対峙、葛藤、自分自身に対する挑戦、仲間との協力、成功体験、達成感など人間の成長に生かすことができる活動を通して、自分の居場所づくりをしてください。

(灘英世准教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

創設25周年記念式典・大同窓会を開催!

総合情報学部では、4月28日に創設25周年記念式典が開かれ、大勢の関係者がお祝いに駆けつけてくれました。式典の後は、卒業生有志による大同窓会が開催され、子どもを連れた多くの卒業生たちが高槻キャンパスでのさまざまなイベントや屋台を楽しんでくれました。

(学生主任 徳山美津恵教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

社安流・防災に役立つ情報発信!

毎週土曜、朝10時。ラジオ大阪をお聴きいただくと、社会安全学部の学生が、暮らしの安全に役立つ情報を、軽妙なトークで分かりやすくお届けしています。昨年度から始まった「安全・安心・アンサンプル」。すでに通算放送回数は50回を超えて躍進中です。Stay tuned!

(近藤誠司准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

スタートダッシュのその次は

1年次生の皆さん、大学には慣れましたか。だんだん新入生とは言われなくなってきたのではないですか。初めてのことでばかりで右も左も分からなかった時期も過ぎ、関西大学の一員として、しっかりと役割や責任も期待されるようになったはず。少し落ち着いてきたこの時期に、これから4年間の間に何を求め、何を成し遂げるか、もう一度考えてみましょう。

2年次生、3年次生の皆さん、大学院生の皆さん、少しルーティンワークに甘んじてはいけません。関西大学は、求めればほとんどのことができ

るところ。何か新しいことを始めてみましょう。4年次生の皆さん、就職活動をしている大学院生さん、今年も就職活動の日程が読みにくく、進み具合がばらばらなので、少し焦っている方もいるかもしれません。しかし、就職活動はあくまで自分が主役。自分に問いかけ、自分で行動し、何がしたいのか、常に考えるように心掛けてください。

5月19日(日)には教育後援会総会・学部別懇談会が開催されました。たくさんのご父母がいらっしゃり、さまざまな点について質問されま

した。学生の皆さんは、普段、ご家族と大学の話をしていませんか。自宅から通っている学生であっても地方出身の学生であっても、あまり話し合っていないのではないかと思います。自分のことを一番よく知っていてくれて、一番親身になって話してくれるご家族とコミュニケーションをとることで、大学生活や進路の悩みが解消されることが多いのではないのでしょうか。あまりしゃべっていない人は特に、これを機会に話してみてください。

(環境都市工学部入試主任 北詰恵一教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

就職模擬試験 / SPI試験対策講座 (WEBテスト体験会)

【実践コース】(開講キャンパス 千里山・高槻ミューズ・堺) 【募集人員】各クラス100人 【受講料・教材費】5,000円

※詳細は「エクステンション・リードセンター講座案内2019」を参照してください。

回数	日程				内容	
	Aクラス	Bクラス	ミューズクラス	堺クラス	非言語能力①	非言語能力②
1	11/11(月)	11/12(火)	11/15(金)	11/14(木)	非言語能力① 分数計算の要領、割合の計算	非言語能力② 食料木の濃度、二重の割合、損益計算、分別払い
2	11/14(木)	11/15(金)	11/19(火)	11/18(月)	非言語能力① 料金割引、代金の精算	非言語能力② 仕事算、水槽問題
3	11/18(月)	11/19(火)	11/22(金)	11/21(木)	非言語能力① 表の読み取り問題	非言語能力② 速さの計算、流水舟と旅人算
4	11/21(木)	11/22(金)	11/26(火)	11/25(月)	言語能力① 二語の関係、語句の意味・用法	言語能力② 熟語の構成、文の並べ替え、長文読解
5	11/25(月)	11/26(火)	11/29(金)	11/28(木)	非言語能力① 集合(1)	非言語能力② 集合(2)
6	11/28(木)	11/29(金)	12/ 3(火)	12/ 2(月)	非言語能力① 場合の数	非言語能力② 順列と組合せ
7	12/ 2(月)	12/ 3(火)	12/ 6(金)	12/ 5(木)	非言語能力① 確率の要領、確率の計算(1)(2)	非言語能力② 推論(1)
8	12/ 5(木)	12/ 6(金)	12/10(火)	12/ 9(月)	非言語能力① 推論(2)	非言語能力② 資料解釈(1)

※ 日程・内容等は変更になる場合があります。
★ 初回は授業開始30分前からオリエンテーションと教材配付を行います。

【受講申込受付】	
キャンパス	受取場所
千里山	エクステンション・リードセンター事務室
高槻ミューズ	エクステンション・リードセンター高槻ミューズキャンパス分室
高槻	エクステンション・リードセンター高槻キャンパス分室
本学学生(総合情報学部・総合情報学研究科)に限る	キャリアセンター高槻キャンパス分室
堺	キャリアセンター堺キャンパス分室
本学学生(人間健康学部・人間健康研究科)に限る	エクステンション・リードセンター(KUEX)

取扱時間
月～金 10時30分～21時
土 10時30分～18時
(本学休業日を除く)
月～金 10時～17時
(本学休業日を除く)
月～金 10時～16時
(本学休業日を除く)
※ 12時30分～13時30分は除く
月～金 10時～16時
(本学休業日を除く)
※ 12時30分～13時30分は除く

関大トピックス

商学部・矢田勝俊教授が 文部科学大臣表彰を受賞

商学部・矢田勝俊教授が、2019年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞（科学技術振興部門）」を受賞しました。科学技術賞受賞者88件180人のうち、私立大学関係者は20人、本学では延べ12人目の受賞です。

矢田教授の受賞業績名は、「流通ビッグデータ利活用のためのデータマイニング技術の振興」。矢田教授は、大規模データの蓄積・管理・分析の低コスト化を実現するなど、マーケティングにおけるデータマイニング技術の有効活用法を提示。これにより、流通業におけるビッグデータ利活用の礎が築かれ、データマイニング技術の振興に貢献したとして、今回の受賞に至りました。現在では小売業をはじめ、多くの企業においてデータマイニング技術が導入され、大規模な研究会も定期的に開催されています。



「世界本とバラの日 in 大阪」を開催

「本の日」とされる4月23日に、本の読書啓発活動の一環として、「世界本とバラの日 in 大阪」をMARUZEN&ジュンク堂書店梅田店にて開催しました。

4月23日はユネスコが指定する読書記念日「世界本の日」で、スペインのカタルーニャ地方では「大切な人に本やバラを贈る日」（サン・ジョルディの日）とされています。これまで本学は、若者の活字離れを防ぐためさまざまな読書啓発を展開していますが、「本の日」は日本ではあまり認知されておらず、その意義を社会に伝えるため今回の活動を企画。世界初の「青いバラ」を開発したサントリーフラワーズや丸善雄松堂、丸善ジュンク堂書店、関西カタルーニャセンターの協力を得て実現しました。

当日は、学生が作成した「本の帯」付きの書籍約20冊を特設コーナーに設置し、該当書籍購入者に芝井敬司学長らが「青いバラ」を贈りました。



異分野融合研究応援プログラム “FUSION”が始動

本学が新たに始めた異分野融合研究応援プログラム“FUSION”は、「FUSION サロン」「FUSION ウェブ」「FUSION グラント」の3つのコンテンツからなる、人と人と研究領域が交わる場です。異分野交流に関心がある、コラボ相手を探したい、学内ネットワークを広めたい、そんな研究者のために研究分野を超えた交流を応援します。第1回「FUSION サロン」を、6月12日（水）にイノベーション創生センターで行い、第2回の開催は秋ごろを予定しています。

「FUSION サロン」：研究者同士が実際に交流する場。

「FUSION ウェブ」：バーチャルな交流の場（ウェブサイト）。「FUSION サロン」で作成された“プロフィールポスター”を掲示したサイトで、いつでもどこにいても交流が可能。

「FUSION グラント」：グループで共同研究を進めるために活用できる“FUSION”専用の学内研究費制度（現在設立交渉中）。

詳細はこちらをご覧ください。



関大人 四方山話 ◆「ライバルのありがたさ」

よもやまばなし

図書館事務室 北野正人



今年も総合関関戦が始まります。久々の連覇に期待は高まりますが、私にも体育会の一員としてその歴史に名を連ねた一瞬がありました。

関関戦が「宿命のライバル対決」であることに異論はないと思います。大昔、私にもKGにライバルがいました。ともに大学から競技を始め、西日本や関関戦で幾度も対戦し、勝ったり負けたりを繰り返しました。初めは、ただ負けられない相手でしたが、試合を重ねることで、いつか互いの成長を確かめあう存在となっていました。鎧を削ったあの頃が今思えば青春です。

あれから何十年…今の私には、一方的にライバル視する存在がいます。普段は手厳しいのに、自分が大変だった時期に支えてくれた一人の同期です。彼の積年の努力が結実したときは、我がごとのように喜びました。もはや憧れに近いですが、勝手にライバルと呼ぶことで、時折、力をもらっています。

後輩の皆さんには、切磋琢磨できるライバルを見つけてほしいです。そして関関戦では、諸先輩によって紡がれてきた伝統の重みを感じてください。上ヶ原の地で紫紺の征旗が輝き、勝利の凱歌があがることを願っています。

編集後記

2019年5月・6月合併号の関西大学通信の「なるほど・ザ・関大！」では、関西大学から出るゴミの量や清掃作業について紹介しました。千里山キャンパスの第2と第4学舎の清掃作業をほとんど毎日、たった40人で行っていることに驚きました。作業は朝の6時からスタートされるとのこと、では起床や出勤は何時から？と思うと清掃担当の皆さまに頭が下がります。毎回の講義や会議で排出する大量の紙の浪費が減るよう気を付けたいと思った次第です。
(広報委員・経済学部教授 片山直也)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2019年6月10日
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

ジャルジャル

後藤淳平さん・福徳秀介さん（共に本学卒業生）

キャンパスのあらゆる場所に思い出があります。「ここでごこんなことをしたなあ」と思い出します。教室でネタ合わせもたくさんしました。皆さんも関大で皆さんの思い出をつくってください。